

独立役員届出書

1. 基本情報

会社名	黒崎播磨株式会社			コード	5352
提出日	2020/5/22	異動（予定）日	2020/6/26		
独立役員届出書の提出理由	定時株主総会に社外役員の選任議案が付議されるため。				
☒ 独立役員の資格を充たす者を全て独立役員に指定している（※1）					

2. 独立役員・社外役員の独立性に関する事項

番号	氏名	社外取締役／社外監査役	独立役員	役員の属性（※2・3）													異動内容	本人の同意
				a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	該当なし		
1	藤永 憲一	社外取締役	○										○				訂正・変更	有
2	田中 優次	社外取締役	○													○	訂正・変更	有
3	宇佐見 昇	社外取締役	○													○	新任	有
4	部谷 由二	社外監査役	○										○				訂正・変更	有
5	松永 守央	社外監査役	○													△	訂正・変更	有

3. 独立役員の属性・選任理由の説明

番号	該当状況についての説明（※4）	選任の理由（※5）
1	藤永憲一氏は、過去10年間に於いて九州電力（株）及び（株）九電工の業務執行者（業務執行取締役）であり、現在は（株）九電工の相談役及び福岡商工会議所の業務執行者（会頭）です。 なお、藤永憲一氏は、当社の株式500株を所有しています。 当社と九州電力（株）との間では、同社が供給する電力の利用の取引があり、取引金額は357万円（単独、2020年3月期）です。また、当社と（株）九電工の間では、電気工事発注の取引の取引があり、取引金額は40万円（単独、2020年3月期）です。 当社と福岡商工会議所との間では特別の関係はありません。	藤永憲一氏は、2009年6月から2012年6月までは九州電力（株）の取締役として、2012年6月から2018年6月までは（株）九電工の取締役として経営に携わってきました。この経歴を通じて培ってきたビジネスに関する経験・見識を当社の経営の監督に活かしていただくことが期待できるため、社外取締役としています。 当社と九州電力（株）との間では、同社が供給する電力の利用の取引があり、取引金額は357万円（単独、2020年3月期）です。また、当社と（株）九電工の間では、電気工事発注の取引があり、取引金額は40万円（単独、2020年3月期）です。しかし、これらの取引は、当社及び各社の事業規模に比して僅少であること、また、当社と福岡商工会議所との間では特別の関係はないことから、藤永憲一氏の独立性に影響を与えるものではないと考えており、当社としては、一般株主と利益相反が生じるおそれはないと判断し、藤永憲一氏を独立役員として指定しています。
2	田中優次氏は、過去10年間に於いて西部瓦斯（株）の業務執行者（業務執行取締役）であり、現在は同社の相談役です。 当社と西部瓦斯（株）との間では特別の関係はありません。	田中優次氏は、2002年6月から2019年6月まで西部瓦斯（株）の取締役として経営に携わってきました。この経歴を通じて培ってきたビジネスに関する経験・見識を当社の経営の監督に活かしていただくことが期待できるため、社外取締役としています。 当社と西部瓦斯（株）との間では特別の関係はないことから、田中優次氏の独立性に影響を与える事情はないものと考えており、当社としては、一般株主と利益相反が生じるおそれはないと判断し、田中優次氏を独立役員として指定しています。
3	宇佐見昇氏は、過去10年間に於いて（株）安川電機の業務執行者（業務執行取締役）であり、現在は同社の顧問です。また、宇佐見昇氏は、2011年6月から2015年6月まで当社の社外監査役に就任していました。 当社と（株）安川電機の間では、株式の相互保有の関係がありますが、持株比率はいずれも1%未満（当社の同社株式持株比率：0.19%、同社の当社株式持株比率：0.77%、いずれも2020年3月末時点で自己株式を控除せずに計算）です。	宇佐見昇氏は、2004年6月から2016年6月まで（株）安川電機の取締役として経営に携わってきました。また、2011年6月から2015年6月まで当社の社外監査役に就任していました。この経歴を通じて培ってきたビジネスに関する経験・見識及び当社に関する知見を当社の経営の監督に活かしていただくことが期待できるため、社外取締役候補者となりました。 当社と（株）安川電機の間では、株式の相互保有の関係がありますが、持株比率はいずれも1%未満（当社の同社株式持株比率：0.19%、同社の当社株式持株比率：0.77%、いずれも2020年3月末時点で自己株式を控除せずに計算）と僅少であることから、宇佐見昇氏の独立性に影響を与えるものではないと考えており、当社としては、一般株主と利益相反が生じるおそれはないと判断し、宇佐見昇氏を独立役員として指定することとしました。
4	部谷由二氏は、過去10年間及び現在において西日本鉄道（株）の業務執行者（業務執行取締役）です。 当社と西日本鉄道（株）の間では、運送発注の取引があり、取引金額は65万円（単独、2020年3月期）です。	部谷由二氏は、西日本鉄道（株）の経理・財務部門における長年の経験を有するとともに、2008年6月からは同社取締役として経営に携わっています。この経歴を通じて培ってきた財務及び会計に関する知見並びにビジネスに関する経験・見識を当社の監査体制の強化に活かしていただくことが期待できるため、社外監査役としています。 当社と西日本鉄道（株）の間では、運送発注の取引があり、取引金額は65万円（単独、2020年3月期）です。しかし、この取引は、当社及び同社の事業規模に比して僅少であることから、部谷由二氏の独立性に影響を与えるものではないと考えており、当社としては、一般株主と利益相反が生じるおそれはないと判断し、部谷由二氏を独立役員として指定しています。
5	松永守央氏は、過去10年間に於いて国立大学法人九州工業大学の業務執行者（理事等）であり、現在は公益財団法人北九州産業学術推進機構の業務執行者（理事長）です。 当社は、国立大学法人九州工業大学への寄付を実施しており、寄付金額は10万円（単独、2020年3月期）です。 当社と公益財団法人北九州産業学術推進機構の間では特別の関係はありません。	松永守央氏は、工学における専門知識と大学教授及び国立大学法人の理事・学長としての組織運営の経験を有しています。この豊富な経験・見識を、当社の監査体制の強化に活かしていただくことが期待できるため、社外監査役としています。 当社は、国立大学法人九州工業大学への寄付を実施しており、寄付金額は10万円（単独、2020年3月期）です。しかし、この寄付は、当社及び同校の事業規模に比して僅少であること、また、当社と公益財団法人北九州産業学術推進機構の間では特別の関係はないことから、松永守央氏の独立性に影響を与えるものではないと考えており、当社としては、一般株主と利益相反が生じるおそれはないと判断し、松永守央氏を独立役員として指定しています。

4. 補足説明

社外役員（社外取締役及び社外監査役）の独立性については、当社が上場する金融商品取引所が定める独立性基準に従って、その有無を判断します。

※1 社外役員のうち、独立役員の資格を充たす者の全員について、独立役員として届け出ている場合には、チェックボックスをチェックしてください。

※2 役員の属性についてのチェック項目

- a. 上場会社又はその子会社の業務執行者
- b. 上場会社又はその子会社の非業務執行取締役又は会計参与（社外監査役の場合）
- c. 上場会社の親会社の業務執行者又は非業務執行取締役
- d. 上場会社の親会社の監査役（社外監査役の場合）
- e. 上場会社の兄弟会社の業務執行者
- f. 上場会社を主要な取引先とする者又はその業務執行者
- g. 上場会社の主要な取引先又はその業務執行者
- h. 上場会社から役員報酬以外に多額の金銭その他の財産を得ているコンサルタント、会計専門家、法律専門家
- i. 上場会社の主要株主（当該主要株主が法人である場合には、当該法人の業務執行者）
- j. 上場会社の取引先（f、g及びhのいずれにも該当しないもの）の業務執行者（本人のみ）
- k. 社外役員の相互就任の関係にある先の業務執行者（本人のみ）
- l. 上場会社が寄付を行っている先の業務執行者（本人のみ）

以上のa～lの各項目の表記は、取引所の規則に規定する項目の文言を省略して記載しているものであることにご留意ください。

※3 本人が各項目に「現在・最近」において該当している場合は「○」、「過去」に該当している場合は「△」を表示してください。
近親者が各項目に「現在・最近」において該当している場合は「●」、「過去」に該当している場合は「▲」を表示してください。

※4 a～lのいずれかに該当している場合には、その旨（概要）を記載してください。

※5 独立役員の選任理由を記載してください。